

特集……令和6年度 自主防災訓練が実施されました。

10月27日(日)、「集いのまほろば」で、班長及び町内会役員約50名の参加の下、自主防災訓練が実施されました。訓練は大きく安否確認訓練と防災研修に分れ、右表の内容で進められました。

安否確認とは、大震災発生直後、家族が無事な場合玄関先にタオルを掲示する、という単純ですが、それだけに大地震の混乱の中でも比較的容易な行動を私たちが徹底する事で、効率的な救出救援作業を図っていくための訓練です。

一方、防災研修は、消防や消防団と云う防災の専門家の指導の下、普段、使う機会のない救命救助の機器を実際に稼働体験をすることで緊急時に対応できるようしておくための訓練です。今回の訓練では、岡津消防所の石渡所長と泉消防団第二分団の皆さんの協力を頂きました。

尚、今回の訓練では、緊急時の町内の協力体制構築の一環として「炊出し」の実施を訓練プロセスに加えしました。交流支援部を中心に協力者の皆さんが、各自の調理機材を持ち寄り、家庭用ガスコンロを利用して団子汁を作り、また災害用のアルファ化米の「五目ごはん」を用意して頂きました。

自主防災訓練進行概略

7:45	震度5強以上の地震発生想定
8:15	安否確認タオル掲出(全会員世帯)
9:00	タオル確認(班長)
9:20	一時避難所集合(班長/地区担当)
9:40	全体集合(班長/役員)
10:00	防災研修(岡津消防所主導)
11:50	終了



来年は、阪神淡路大震災から、ちょうど30年になります。決して起きてほしくない「大地震」ですが、その危機が身近に迫っている事も、また確かです。今年は久しぶりに屋外での訓練を実施しました。屋外で経験する事で、よりリアリティのある訓練になったようにも思います。こうした訓練を重ねる事で、町内の多くの方が、自助、共助の対応を進めていく助けになればと思います。



12月8日(日)だいさん子ども会と連携して「クリスマスイベント」を計画しています。11月中旬までには、詳細をお知らせできると思います。楽しみにお待ちください。

